



# Star ☆☆☆

## EXPRESS

### 1月の予定

12月28日 1月度授業料引落日  
(1月11日 引き落とし予備日)

12月26日 クリスマスカップ

12月27日 そろばん臨時休講

12月30日～1月6日 そろばん冬休み

1月22日 暗算検定申込締め切り  
(3月5日実施)

1月30日 近畿大会大阪府予選

☆2月13日珠算検定・段位検定・1月30日近畿大会の特別練習日程

1月15日・1月22日・1月29日・2月5日・2月12日 午後5時～7時

### ☆冬休み日程☆

年内最終授業は12月29日、年初は1月7日からです。ただし、12月29日(水)の7時20分クラスはありません。6時20分クラスまでに来てください。

学校の休暇中でも、今通っている授業時間帯を守ってください。座席数には限りがあります。

12月27日(月)は、クリスマスカップの引率でそろばんの授業はお休みとなります。注意してください。

### ☆ドリームカード賞品引換☆

24日以降に賞品引換のできる生徒

①23日に出席できなかった生徒。

②当選しなかった生徒で、外れカードが10枚以上ある生徒。

③当選賞品数が3個以下の生徒。

### はじき初めのご案内

1月3日午前10時から大阪天満宮で「そろばんはじき初め」が開催されます。毎年恒例の行事です。申込は不要ですので、お時間がございましたらお出かけください。先着順で記念品があります。ただし、雨天の場合は中止です。

### 旭屋書店イベントのご案内

旭屋書店なんばCITY店(地下鉄なんば駅と地下で連絡。なんばCITY地下2階)では、1月3日の午後1時～4時まで、誰でもチャレンジできるフラッシュ暗算のイベントがあります。書店のレシート1枚につき1回チャレンジでき、正解ならば賞品の図書券を目指して抽選できるものです。3時からフラッシュ暗算のチャンピオン決定戦も行う予定にしています。はじき初めの会場で、レシートがなくとも1回チャレンジできるチラシを配布する予定です。正月に本を買いだめして、フラッシュにチャレンジし、お年玉の図書カードをゲットしましょう。図書カードはかなりの枚数が準備されそうで

す。

-----

**☆12月4日暗算検定結果☆**

**【1級合格】**

荒木幸菜 加藤大騎 半埜織十音

**【準1級合格】**

井手勇希 奥田あさひ 酒井克巳

下西嶺輝 山本紗利那

**【2級合格】**

岡留陽花 大西賢斗 河原健太郎

金子千紘 野村まゆ子 平田祐聖

村上凌太郎 山下業

**【準2級合格】**

池田菜乃子 石上香菜子 仙田さくら

辻尾菜々 札埜源貴 森岡優海

百田夏海

**【3級合格】**

木本優芽 木寺輝 木村理仁 高倉知良

中上慶祐 中家千裕 三輪勇貴

松下真之介 前西かえで 今井美瑞穂

**【4級合格】**

井手亮太 岡田遙 岡田渉 小石恭馬

中越菜々子 藤田健生 村上小晴

吉田優香 山本夕有花

**【5級合格】**

奥田南海 笠崎悠佑 四宮彩花

高橋情 津崎菜々子 谷川愛奈

西村結実 牧野元 増永優貴

**【6級合格】**

川瀬雄登 谷岡菜々子 平野竜宇

前田謙吾 山本佳代子 若林聖和

**☆あんさん種目別チャンピオン大会☆**

15位以内入賞者一覧

**【1部・5段以上取得者】**

乗 除 見

金本 大夢 5位 4位 9位

金本 三夢 3位 3位 7位

永井 功久 7位 6位 15位

乗 除 見

安原 章太 11位

**【2部・2級以上の中学生以上】**

今村 妃菜 13位

**【3部・2級以上の小学5・6年】**

桑原 麻衣 6位 3位 1位

濱野 恵太 8位 2位 2位

**【4部・2級以上の小学4年生以下】**

大内 悠聖 2位 2位 1位

大内 峻聖 6位 3位 12位

蜂谷 圭将 12位 11位

藤野 柚季 7位

山口 愛未 3位 6位 3位

金本 愛夢 14位 7位 4位

**【5部・2級未合格の小5以上】**

今井麻友香 6位 13位

**【6部・2級未合格の小4以下】**

鍵野 佑登 14位

山下 業 8位 3位

山下 湧 15位

-----

◎当教室が所属しております大阪珠算協会では、年に1回、研究誌『珠研』を発行しています。来春発行される号で、執筆の順番が回ってきてしまいました。大きなテーマは「低学年指導」ですが、編集者に「テーマはさておき…」という無理を飲んでいただき、書きました。一足先に、塾報に掲載してみます。当教室の授業の一コマにスポットを当てた文章です。

**～最強の習い事そろばん～  
脳移植に匹敵する珠算学習**

欧米に比べればずいぶん立ち遅れている日本の移植医療。それでも昨今は、移植推進派には遅々とする歩みかもしれないが、少しずつ進んできている。法整備の進捗とともに、移植技術

の革新的な進歩によって、やがては多くの臓器が移植、あるいは再生されるようになるかも知れない。

しかし、いくら技術が進歩しても移植しようのないものが脳である。ものを考える脳は、存在そのものが自分自身であるから、移植するとそれはもはや自分ではなくなる。技術的にもし移植が可能になっても、倫理的に永久に実現しないものが脳移植だろう。

ところが、私たちは、子ども達が脳移植でも受けたかのような劇的な変化を目の当たりにすることがある。まれに、ではなく、日常的に、である。ある日突然、視界がパッと開け、トンネルから抜け出る瞬間に私たちは出会う。偶然ではなく、必然的に出会う。

「珠算学習が脳のふたを開く」のである。

以前は、加減の基本が終了すると自動的にかけ算の導入を行っていた。かけ算九九の不安な生徒には九九表を見させて計算させ、そのうちに自然に覚えるのを待っていた。ほとんどの生徒はそれで大丈夫なのだが、そろばん・問題・九九表の間を視線が行き来することで乗加位置の間違いをどうしても防げない生徒が散見されるのが悩みの種であった。

結局、九九を完全に暗記するのを待ってからかけ算の指導に入るように指導体制を変更したのだが、暗記するまでの間、ただひたすら2桁3口、2桁5口、2桁7口をそれぞれ10題ずつ収めたみとり算の練習をさせた。別段深い狙いがあったわけでもなく、どちらかと言えば“仕方なく”させた練習であったが、これが思いもしない果実

を生み出すことにつながるとは導入直後は想像すらしていなかった。

加減の基本は終了したものの九九に少しでも不安のある生徒のグループは、1回の授業で多いときに10名を超える。初めのうちは、グループ全員で一斉に開始し、最高得点者を優勝、同点の場合は計算時間の短い生徒を勝者にして競わせていた。集中して必死に取り組む雰囲気は、とても初歩の生徒たちが生み出すものとは思えないほど緊迫し、それなりの成果を生み出していたが、やがてむやみに速く計算して誤算を増やす生徒や、逆に長時間をかけて慎重すぎるほど慎重に計算する生徒が出てきて、他者との勝負にのみ執着する雰囲気が少し顕在化してくるようになった。

そこで、次に「過去の自分との競争」を主眼にすべく方式を変えることにした。やりかたは単純で、一人ひとりの最高タイムに40秒を加えた「足きりタイム」を設定し、足きりタイムを超えてしまうと、最高点を記録しても認定せず、勝負への参加資格を失うこととした。自分の設定時間が唯一の競争相手である。足きりタイム内に終了しなければならぬため、みんな必死に取り組む。この必死さが高度の集中力を生み、誤算を減らすことにつながる。最高タイムが出ればうれしいが、同時に足きりタイムも縮むわけで、生徒にとっては、やっかいな練習であるが、しばらく続けているうちにある変化が現れてきた。

ある生徒。入塾当初から、とてもおとなしく、かなり引っ込み思案気味。自己主張をすることがなく、採点待ち

の列に加わることに遠慮がちであった。「すべてにおいて、ゆっくりしている子どもです。せめて計算だけでも速くできれば…」入会時にお母さんから伺っていた言葉である。

確かにお母さんが仰ったとおりで、テンポが上がってこない。見守っているとゆっくりではあるものの何とかできるが、自分でやるとなるとなかなか自信が持てず、指が進まない。怖々と動かしているうちに思考が混乱してきているのが端から見てもわかる。

私が発する指導上の質問だけでなく、たわいのない会話でも質問を投げかけられると体が硬直し、口が開かない。授業中は誰とも話さず誰とも視線を合わせずにいるので、答案の交換相手を見つけられない。指導すると、緊張のためか手が痛々しいほど震える。やっとの思いで口にする言葉は小さすぎて聞き取れない。私の精一杯の優しさを込めた「もう一度言ってごらん」という言葉にすら、叱られていると思うのか今にも泣き出しそうな表情になる。動作も話し方もゆっくりで、教室ではいつも何かにおびえたような感じがしていた

自信を持たせるために、何度か初歩教材をやり直した。自分でできる、ということ腹の底から実感させるためである。外見や日常の行動からは想像しがたかったのだが、この頃から何度戻されても決してめげない強い心と、毎日のように教室にやってくる豊富な練習量がこの生徒の最大の長所であったと私は気づかされることになっていく。

数回やり直した後、ようやく先述の

グループに入れるようになったこの生徒にとっての初日。他の幼稚園児や1年生達の多くが5～6分台で計算を終了する中、20分ほどかかってやり遂げた。採点すると誤算続出で、授業時間内に間違い直しが終わらない。悔しいのか、悔しくないのか、何とか表情を読み取ろうとするが、表情にほとんど変化はない。ただ、周囲が次々と計算終了の返事をするたびに、返事の主を捜してはキョロキョロしていた態度だけが、それまで何があっても自分の目の前の課題をじっと見続けるだけのこの生徒の唯一の変化だった。

連日、練習回数をこなしていく。少し計算時間を短縮できたかと思えば、また元に戻ったりする日々が続く。かけ算の九九は暗記しているが、みとり算が正確にできないとかかけ算の進みが遅くなることをお母さんにも説明し、みとり算の強化練習を続ける。

練習を始めて1か月ほど経った頃。計算時間にあまり変化はなかったものの、誤算が極端に減ってきて、「優勝」することができた。自分専用の制限時間内ででき、グループ内で最少失点だったのである。

その瞬間、この生徒に変化が起こった。自力で成し遂げた結果が正当に評価され、最高の結果が得られたのは、おそらく人生で、一といってもまだ数年ではあるが一、初めてのことだったのかも知れない。その時初めて、「目が笑った」のである。

その日を境に、「よーい、はじめ」の声に反応してプリントを表にする動作、鉛筆をつかみそろばんを持って1番に取りかかるまでの速さ、計算がで

きてから答えを書き始めるまでの速さ、答えを書いてから次の問題に移るまでの速さ、などなどがすべてスピーディーに淀みなく動きだした。「見る・覚える・考える・動かす」という一連の動作がほぼ同時に連動しはじめ、計算タイムがどんどん短縮されてもいった。自分自身の可能性の広がりを感じ、まるで孵化するかのように殻を破って行って、生まれ変わったのである。芽生えた！

結局この生徒は2か月ほどの練習で7分台前半まで時間を縮め、現在は乗除の習得にいそしんでいる。私が準備したものは教材と環境、そして生徒と私の双方に不可欠だったのは「ガマン」であった。そこに、保護者の子どもを見守る温かいまなざしと、いつまでもどこまでも子どもを信じて待つことのできる辛抱強さという強力なバックアップがあってこそその成果であった。

「今」は今を乗り切るためだけにあるのではなく、将来の準備としての「今」なのである。そう腹を決めてかからないと、変化のない最初の1か月で見切りをつけていたかも知れない。

「先に進ませてあげないと生徒が飽きてしまうのではないだろうか。保護者から疑念を持たれないだろうか。授業料をもらっているのだからもっと教え込んだ方が良くはないだろうか」と、とにかく目先の困難だけを取り払うことに執着すると、このような劇的な変化は起こらなかつたかも知れない。今更ながら、我々指導者にもガマンが必要だと思い知ることになった。

「待つ」ことができるのが珠算学習

の利点の一つだと思う。基本的にカリキュラムはあるが、いつまでにどこまでできていなければならない、という時間を限った縛りはない。

「待てない」症候群にかかった大人達に育てられた子どもはかわいそうで、なぜなら、「できそうでできない」「できなさそうでできた」というワクワクする体験は、「待つ」行為と一体であるからである。成功体験と失敗体験の多寡が心を豊かにすると確信している。

ところで、先に、今ご紹介した練習を続けていると、「思いもしない果実を生み出す」と書いたが、その果実は暗算力であった。

最高タイムの更新を目指して取り組んでいると、やがては頭打ち状態になってくる。技術の上昇グラフの傾きが緩やかになり、水平になるときがあったりして、その打破には技術革新が必要になるのだが、それが暗算導入のきっかけとなる。

指が止まらずに動き続けるほどうまくなってくると、自然に暗算でできるようになる瞬間があるようである。ライダーが滑走を続け、ある速度を超えるとやがては飛び上がれるようになるのと同じで、生徒によって多少の差異はあるが、先の問題を5分台ではじけるようになってくると、無理なく暗算でできるようなのだ。少し暗算でやってみて、まだ難しそうだと生徒自身が判断すればそろばんに持ち替えたりして、自分から進んでチャレンジしている。赤ん坊が寝返り、ハイハイをし、立ち上がり、一歩目に挑む様子と、まさに同じ光景が繰り広げられて

いく。中には3分台でできる生徒もいて、周囲に良い刺激をまき散らしてくれる。

こんな生徒達は、フラッシュ暗算でも難なく合格していくようになった。キャリアをもっと積んでいる上級生の暗算力を凌駕してしまっている。

繰り返しになるが、この生徒達は、私が口頭でランダムに出題するかけ算九九のテストにまだ合格できていない生徒達である。

今まで暗算能力の獲得を目指して様々な教材や技法を考えてみたり、実践したりしてきたが、目下のところは、ただひたすらみとり算を弾き込むこと、このシンプルで“古典的な”方法に回帰している。

入塾間もない頃から簡単な暗算の練習を行ってはいるが、私の教室から、「本格的な暗算の導入」という概念はもはや無くなってしまった。

そろばんと暗算との間にあった“垣根”は、もしかすると「暗算の導入」という言葉に代表されるような、大上段に身構えた心の中にこそあったのかも知れない。

### **出席時間20時間以上の生徒**

(12月20日までの1ヶ月)

金本大夢48 窪田一誠45 桑原彩衣42  
永井功久41 濱野恵太41 金本三夢40  
桑原麻衣39 楓まい38 楓陸38  
奥田南海37 金本愛夢37 桑原唯衣35  
奥田あさひ35 山口愛未34 安原章太33  
谷岡菜々子33 藤野柚季32 松下綾乃32  
中越菜々子32 田中友子31  
落合将平29 江良尚泰29 梅野雄太28  
大内悠聖27 西村梨留27 盛井元仁27  
百田夏海27 北村彩26 酒井結

衣25 酒井克巳25 福田陸人25 楠田知己23  
西島朝香23 長尾侑美23 今村妃菜22  
北村樹22 花岡棋平22 加茂和志22  
山内美空22 大内峻聖21 下西嶺輝21  
竹下柊希21 西村早貴21 蜂谷圭将21  
山根建太朗21 今川未奈子20  
辻尾菜々20 鍵野佑登20 塚本裕策20  
古川和佳20 湊結子20

### **猛スピードばく進中(PERFECT)**

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

中津裕貴83 竹下柊希68 楓陸65 西村梨留65  
竹下椋香64 森本倫才64 佐藤日奈子58  
川崎龍一56 河田青大51 田邊美空49  
高橋恵太44 池崎佑磨41 黒木康平38  
北森彩月37 実生碧37 佐藤葉南子32  
伊藤優生31 古橋晴香31 松本心晴29  
西本直幸28 上山敬大27 久保心暖26  
前田小春26 三屋龍義26 木本悠月23  
出口来実23 梅野圭希22 平井望彩22  
岩宗楓斗20 西島彰吾20 西村涉利20  
本間響20 吉見駿冴20 山内美空20

### **猛スピードばく進中(瞬達)**

(初歩教材「瞬達」を1ヶ月で5ページ以上進んだ生徒)

谷岡菜々子21 楠田知己18 田中友子17  
井上敦史12 湊結子12 井手亮太9  
塚本裕策9 中越菜々子9 湯浅彩乃9  
若林聖和8 桑原彩衣7 木村征爾7  
西島朝香7 木村理仁6 沼田創史郎6  
中島萌唯6 池田菜乃子5 仙田さくら5  
平田航大5 平野竜宇5

### **フラッシュ暗算合格者**

(12月20日までの1ヶ月間)

**4段** 桑原唯衣

**3段** 田村麻菜

- 2段** 田村麻菜 萩森光恵  
**初段** 田村麻菜  
**1級** 福井優 池田菜乃子  
**2級** 西川哲太 吉富千夏 松下真之介  
**3級** 西川哲太 松下真之介 四宮彩花  
 藤岡碧海 金田久慶 岡留彩花  
 中越菜々子  
**4級** 西島朝香 西田旭歩 津崎菜々子  
 石田優麻 吉永颯 森岡賢一  
**5級** 西島朝香 石田優麻 森岡賢一  
 久保田莉央 楓まい 辻本星来  
 井戸浩樹 井上清楽  
**6級** 久保田莉央 楓まい 中川優花  
 若林聖和 前田謙吾 小西真雪  
**7級** 楓まい 楓陸 谷岡菜々子  
**8級** 楓まい 楓陸 谷岡菜々子  
 中野楽 小川千尋  
**9級** 楓陸 谷岡菜々子 小川千尋  
 西村梨留 川崎龍一 山本佳代子  
 河田青大 赤井順哉 井上葵美  
**10級** 楓陸 小川千尋 西村梨留  
 川崎龍一 河田青大 田邊美空  
 越野貴也 岸本祐真 石橋広太郎  
 仲谷愛花 畑さくら 北森遥弥

### 書道教室から～加藤真月

硬筆昇段試験の結果が1月号に発表されました。合格者は下記の通りです。

- ・五段合格…蜂谷圭将・中井美咲
- ・四段合格…辻尾菜々・吉富千夏
- ・三段合格…金本大夢・藤原弥咲・下垣大吾
- ・二段合格…加藤大騎・金本三夢・黒田幸花・黒田佳花
- ・初段合格…中西佑輔・東優里・岸本健志・和田佳己

認定証が必要な方は、800円を添え

て、申し込んで下さい。希望者のみです。

来月は毛筆の昇段試験の結果がわかります。

先月塾報でお伝えした通り、「第27回成田山全国競書大会」（半紙でも書初用の紙でもどちらでも出品可能。出品料は1点300円）、と「平成23年度 学生書初コンクール」（出品料は1点につき500円。）があります。

（教室の書初用の紙を使う場合は、出品料とは別に100円お納めください。）まだ申し込みを受けつけています。申し込む方はおっしゃってください。

さて、先日、第7回一朴会書展が開催されました。私は三作品出品しました。作品を掲載した図録を教室においておきます。普段書いているお習字とは違う世界です。興味のある生徒さんにはご覧いただきたいと思います。

はや、12月。年々一年の経過が早く感じられます。育ち盛りの子供たちとひと月に4時間、年間48時間ものたくさんの時間をともに過ごさせていただきました。それぞれに成長を感じることができ嬉しいです。個々の子供の良い点を誉め前向きな気持ちを育てつつ書道の技術を伸ばしていけるよう、今後も指導していきたいと思っております。2011年もどうぞよろしくお願い致します。

- |       |    |    |
|-------|----|----|
| ・幼稚園  | 毛筆 | 硬筆 |
| 小西 美琴 | 9級 | 8級 |
| 市川 大誠 |    | 9級 |
| ・小1   |    |    |
| 角南 佳祐 | 8級 | 3級 |
| ・小2   |    |    |

今井 麻奈未	初段B	2段
加藤 大騎	初段	2段
沼田 賢志郎	9級	4級
東 美玖	1級	1級
土橋 乙心	6級	1級
小西 真雪	8級	5級
松下 菜々	8級	6級
九十九 光希	8級	5級
中村 優吹		新8級
・小3		
蜂谷 圭将	4段	5段
辻尾 菜々	初段	4段
金本 大夢	2段	3段
上野 舞華	2段	3段
沼田 創史郎	4級	1級
中西 佑輔	5級	初段
松下 真之介	7級	6級
尾碕 初菜	7級	6級
西本 朱里		
・小4		
市川 未悠	2段	3段
金本 三夢	2段B	2段
吉富 千夏	2段B	4段
大槻 遥香	初段	1級
岸本 健志	1級	初段
山下 彩乃	初段B	初段
東 優里	初段B	初段
園田 有咲	3級	1級A
山口 愛未	4級	2級 (写)
桑原 唯衣	8級	6級
・小5		
和田 佳己	1級	初段
上野 豪斗	初段	3段
藤原 弥咲	2段	3段
木村 美佑	初段	初段
下垣 このみ	1級	2段
中井 美咲	2段	5段
黒田 佳花	初段	2段

黒田 幸花	初段	2段
園田 沙耶香	3級	1級
寺西 匠人	7級	6級
・小6		
下垣 大吾	1級	3段
荒木 幸菜	1級B	1級
桑原 麻衣	3級	2級

-----  
◎現在発売中の『edu2月号』に、日本珠算連盟の広告とともにそろばんの記事が1ページ出ています。私のインタビュー記事形式になっていますが、今まで編集者と雑談していたことが記事になっています。来年2月売りの同誌ではそろばんの特集が組まれます。

◎また、edu主催の、そろばん未体験者向け体験学習会が、5月に東京、6月に大阪で開催されます。eduの読者を対象としたものですが、どちらも講師をすることになっています。ご近所・ご兄弟で希望する方がいらっしゃいましたら、今後のeduをチェックしておくようお願いください。

◎旭屋書店でのイベントは、10月頃、同店店長から私が直接依頼されたものでした。行きがかり上、実行委員的な仕事を引き受けることになり、準備と施行に携わっています。うれしいことに、あちらこちらの団体・企業より商品のご提供を受けることができ、参加者の多くに何らかの賞品が当たりそうです。賞品の当否はさておき、お正月から読書というのものなかなかのもので、どうかお誘い合わせの上、お越しくください。

◎喪中のため、教室からの年始のご挨拶は遠慮させていただきます。来年も当教室をよろしくお願いいたします。